

新年

あいさつ



— 新年のごあいさつ —

関川村長 平田大六

あけましておめでとうございます。村民の皆さまにおかれましては、それぞれに新しい年を迎えられたことと拝察いたします。

昨年11月末に発生しました「鳥インフルエンザ」は、全国的ニユースにもなり、村民の皆さまにご心配をおかけいたしました。被害をうけられた農場や同業の皆さまにお見舞い申しあげます。発生後、新潟県当局をはじめとし、自衛隊、建設業、近隣市町村、村内外の皆さまの昼夜連日の作業によりひとまず収拾いたしましたことは、ありがたく感謝申し上げます。今後、業界のたちなおり、風評払拭、環境対策など、ひきつづき課題にとりくんでまいります。

今春は、第6次関川村総合計画実施の2年度目に入ります。いわゆる「人口ビジョン」等をふまえ、目標数値もかかれています。外注で作成した自治体もありましたが、関川村では、村民の委員の皆さんと村職員が「汗を流して」つくったものです。前年度を検証しながら進めていきます。

本年は全国レベルの大会をおひきうけています。それは、6月30日から3日間の第50回全国ホタル研究会新潟県関川村大会です。関川小学校の3年生が、いま教室でホタルの幼虫を飼い観察を始め、大会でその研究報告をしてくれます。

羽越豪雨による大災害から50年の節目を迎えます。この記憶を後の世へ伝えてゆくために、8月末「羽越水害50年記念事業」を関川村を中心にして開催します。村民の皆さまにおかれましても、ご家庭などで、その体験を語り継いでいただくことを願います。

木質バイオマス発電計画につきましては、米国資金が遅れており、村民の皆さまには、ご心配をおかけしておりますが、ひきつづき実現にむけ努力してまいります。

昨年は、村出身の若いスポーツ選手の方々が全国で大活躍されました。その、ふるさととしての村づくりをすすめます。

年頭にあたり、村民の皆さまのご多幸をお祈りします。

謹 賀

年 頭 の ご



— 新年のごあいさつ —

関川村議会議長

近 良 平

明けましておめでとうございます。皆様にはすこやかな正月を、お迎えのこととお喜び申しあげます。昨年は、鳥インフルエンザが発生し大変な年になってしまいました。新潟県知事を先頭に迅速な対応で被害は最小限にとどめられたと思います。尽力戴いた総ての方々に改めて御礼申しあげます。議会といたしましても、その後の風評被害等の対応を検討してまいります。

さて議会活性化についてですが、昨年活性化を調査研究する特別委員会を設置しました。早速一般質問の一問一答方式への変更を実現させました。質問の回数制限を無くしたものです。質問者が納得するまで質問することができません。但し時間の制限があります。質問、答弁とも20分です。先月の一般質問の様子では順調に行われたと思います。以前の会期であれば2度の定例会を経なければ出来ない変更です。通年議会を試行していますがその成果と言えるでしょう。

通年議会も現在のところ問題なく推移しています。臨機応変に常任委員会が開ける

ので、委員会の自由度が高まりました。まだ始まったばかりですので今しばらく試行を続けます。次の課題は議員間討議と広報広聴です。今も広報委員会を特別委員会として設置していますが、議会報の編集に特化しています。この委員会に村民の皆様の声を聴く広聴の役割を担ってもらいたいと考えています。地域へ足を運んで声を聴くのです。議会報告会を基本条例に定めて行っている議会もありますが、参加者が限られてきてなかなか思うような成果が得られていないようです。議会からの一方的な報告でなく皆さまの意見を広く聴いて村政に活かす場に出来ないかと考えています。コミュニティ単位や集落単位、また各種団体ごとなどいろいろなパターンを考えてみたいと思います。声がかかりましたらぜひ参加をお願いします。議会は議員同士の議論の場です。しかし実際に議員間の討議が行われたところは多くありません。議員間討議が出来る議会に一步踏み出す年にしたいと思います。